

○ 委員長報告

2月定例会本会議で報告された建設委員長報告は、以下のとおりです。

平成26年2月定例会

建設委員長報告

報告いたします。

当委員会に付託されました議案の審査結果は、お手元に配付されております委員会審査報告書のとおりでありまして、いずれも原案のとおり可決決定されました。

以下、審査の過程において論議された主な事項について、その概要を申し上げます。

まず第1点は、建設業者の再生支援についてであります。

このことについて一部の委員から、建設産業経営革新等助成事業について、新分野に進出した企業の実績はどうか。また、女性の建設現場等への進出促進についての県の所見はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、建設産業経営革新等助成事業は、平成18年度から現在まで100件の実績があり、企業の状況としては、新分野で1億円程度売り上げているところもある一方、苦戦しているところもある。

今月中には建設業情報管理センター等が立ち上げた「愛媛県の地域建設産業のあり方検討委員会」が、本県の新分野進出企業の取組状況と、今後県が執るべき施策を盛り込んだ提言をまとめることとなっており、これを建設業者に周知するなど、後に続く業者を拓げていきたい。

また、女性の建設業への進出に係る県の支援としては、子育て支援に取り組んでいる業者に、入札参加資格の格付けにおいて加点しているが、女性の活用については建設業界も重視しており、現在、全国建設業協会においても、今後の一層の女性登用をテーマに検討を進めているところなので、これらを参考に、県としても取り組んでいきたい旨の答弁がありました。

第2点は、愛媛マルゴト自転車道の整備についてであります。

このことについて一部の委員から、平成26年度予算に、愛媛マルゴト自転車道整備事業費として8億円余りが計上されているが、整備の見通し及び26年度の事業内容はどうかとただしたのであります。

これに対し理事者から、愛媛マルゴト自転車道は、概ね5カ年で整備を行う計画で、全体事業費として約25億円を想定しており、今年度から整備を進めている。

平成26年度は、中・上級者向けコースについては、10月のしまなみ国際サイクリング大会までに、メロディーライン・夕やけこやけラインコースにブル

ーラインを全線設置するとともに、未整備の8コースについても主要な交差点等に設置したいと考えている。

また、トンネルの安全対策として、「自転車に注意」の看板を坑口付近に全コース設置するとともに、熟度の高いコースから内装板や高輝度区画線を設置することとしている。

ファミリー向けコースについては、上島3島めぐりコースと重信川自転車道コースの主要な交差点などへブルーラインを設置し、コース利用の促進を図ることとしている旨の答弁がありました。

第3点は、しまなみ海道自転車道の無料化についてであります。

このことについて一部の委員から、しまなみ海道の自転車無料化について、実現に向けた詳細な取組状況はどうか。また、無料化の実施時期については、どのように考えているのかとただしたのであります。

これに対し理事者から、2月6日に知事から大臣へ要望を行った際、地元の費用負担を前提とした、しまなみ海道の自転車通行料金の無料化の実現と、本四会社の積極的な支援をお願いしたところであるが、地元負担については、民間からの支援も得ながら、可能な限り県の負担額を軽減したいと考えている。

民間からの協力については、「道路美化スポンサー事業」を参考に、しまなみ海道沿線の県及び市管理施設内に、企業PR用の広告看板を設置し、その広告料収入を地元負担の一部に充てることができないかなどを検討しており、方針が決まれば、早々に地元企業等の意向を確認するなど、今治市をはじめ広島県とも連携しながら、可能な限り民間の支援が得られるよう取り組みたいと考えている。

また、無料化の実現には、負担対象額及び負担割合の決定や、実現スキームの確立、予算計上等を経る必要があるため相応の時間を要するが、多くの人に利用していただくためにも、できれば「夏休み前」までに実現に至ればと考えている旨の答弁がありました。

このほか、

- ・平成26年度の鹿野川ダム及び山鳥坂ダムの事業内容等
- ・特定建築物耐震改修促進事業等
- ・3月14日未明に発生した伊予灘震源の地震による被害状況

などについても、論議があったことを付言いたします。

以上で報告を終わります。